

始める前に

次の質問はあなたの靈の賜物を評価するために作られています。

ひとつひとつの質問をよく考えて読んで下さい。そして、あなたにはどれが合っているか、また合っていないか。どちらかの程度を示す番号を○で囲んで下さい。

ひとつの質問に対してひとつの番号を○で囲みます。

- まったく完全に自分に合っていないとき、1を○で囲んで下さい。
- まったく完全にとはいわないがほとんど自分に合っていないとき、2を○で囲みます。
- ときには合っていたり、ときには合っていなかったりするとき、3を○で囲んで下さい。
- だいたいにおいて合っていると思われるとき4を○で囲みます。
- いつも完全に合っていたら、5を○で囲んで下さい。

この評価表は自分を評価するものですから、正直に答えれば答えるだけ効果があります。質問に全部答えたら、この冊子に書かれている指示に従って、この自問自答の結果を評価して下さい。ただし、前もって先の方まで読んではいけません。一度に1ページずつ進んで下さい。

始める前に、もう一つだけ注意して下さい。あなたの靈の賜物についてのこの調査は、あなたの将来への希望や願望ではなく、過去と現在の経験を評価するものです。この理由から、この調査は、ごく最近イエスにあって「生まれたばかりの」人々に対してよりも、数か月以上主の家族の一員であった人に対して、より深く適応できるようになっています。したがって、あなたがごく最近主を受け入れたばかりであるならば、あなたがすでに経験した事がんについてよりも、これから予想される経験を見越して考えながら質問に答えて下さい。

	て自分 い分 ないに い合 つ	て自分 い分 るに 合 つ
1. 他の人々といっしょに行うような活動を指導するのが非常に好きである。	1 2 3 4 5	
2. 神から直接、神の民を指導するといった高度な責任のある地位につくよう召されたことがある。	1 2 3 4 5	
3. 私は他の人々の気持ちを理解することができます。	1 2 3 4 5	
4. 私は他の人がキリストを信じるように決心させることは容易である。	1 2 3 4 5	
5. だれかが傷ついているとき、心から慰めを言うことができる。	1 2 3 4 5	
6. 神の意志が自分にとって明確でない時でさえ、信仰に一步を踏み出す。	1 2 3 4 5	
7. 値値ある目的のための呼びかけにはまっ先に応じる。	1 2 3 4 5	
8. 社交的な集まりでは、「舞台裏」で忙しくしているのが好きである。	1 2 3 4 5	
9. 人々を自宅あるいはレストランなどに呼んで食事をすることが楽しみである。	1 2 3 4 5	
10. 「祈りの時」の大半を、他の人々の必要のための祈りに過ごす。	1 2 3 4 5	
11. 私は「信仰のみによって義とされる」という教えを明確に理解している。	1 2 3 4 5	
12. 複雑な問題に直面したとき、解決のポイントを見分けることができる。	1 2 3 4 5	
13. 私がアウカ・インディアンの伝道に行って殺された、5人の宣教師たちの1人であったとしたら、やりがいのある仕事をしたと思える。	1 2 3 4 5	
14. アル中や麻薬常習者たちのような、社会から見放された人々を助けることに、私は満足を覚える。	1 2 3 4 5	
15. ひどくみじめな環境の中で暮らすことでも、福音を伝えることができる限り、苦にならない。	1 2 3 4 5	
16. 教会員の家庭を定期的に訪問することが楽しい。	1 2 3 4 5	
17. 困っている人たちは、私が話すと元気になる。	1 2 3 4 5	

18. 聖書をよろこんで教えることができる。 1 2 3 4 5
19. だれかが感情的に混乱したとき、彼らが混乱している理由を説明し、何をすべきかを教えることができる。 1 2 3 4 5
20. 何かの責任を与えられると、熱意をもって全体のことを考え、それをすることができる。 1 2 3 4 5
21. 教理の問題が論議されるときは、私のところにききにくる。 1 2 3 4 5
22. 私は、ある人がキリストとサタンのどちらからより多くの影響を受けているか、言うことができる。 1 2 3 4 5
23. 私は継続的に魂をイエスに導いている。 1 2 3 4 5
24. 困っている人が問題を解決するのを助けるよう、たびたび頼まれる。 1 2 3 4 5
25. 私は、私の行く手に起るあらゆる問題を主が解決してくださるという、確固たる信仰を持っている。 1 2 3 4 5
26. 他の人々を助けるための呼びかけがなされるときは、自分の買いたい物を最小限度におさえる。 1 2 3 4 5
27. 助けを求められたら、たとえ忙しくても、助けようと努める。 1 2 3 4 5
28. 見知らぬ人にあいさつをしたり、話しかけたり、話を聞いてあげたりする。 1 2 3 4 5
29. 困っている人々のことがきまって心に浮かび、祈りの中で、彼らの必要を神に訴える。 1 2 3 4 5
30. 適切な研究資料があれば、たいていの話題について、神のみ言葉が何を教えているかを見い出すことができる。 1 2 3 4 5
31. 人間関係の問題を、当事者たちを満足させるやり方で解決する。 1 2 3 4 5
32. 信仰のために死ぬことを考えても、こわくない。 1 2 3 4 5
33. 身体障害者たちの必要が非常に気になり、彼らと話したり、援助を申し出るのがうれしい。 1 2 3 4 5
34. 福音を宣べ伝えるためには、愛する人々との別離にも耐えることができる。 1 2 3 4 5

35. 一年間毎週同じ説教壇で奉仕することは、私に大きな満足をもたらしてくれる。 1 2 3 4 5
36. 人々はしばしば、「神様があなたを用いて下さいました。あなたは私の必要をちゃんと満たして下さいました。」と私に言う。 1 2 3 4 5
37. 聖書研究のための組織立った授業概要を準備することができる。 1 2 3 4 5
38. 私はいつ妥協すべきでないか、いつ妥協すべきかを知っている。 1 2 3 4 5
39. 私はリーダーは孤独であることを受け入れている。 1 2 3 4 5
40. リーダーが選ばれる際、通常私の意見が求められる。 1 2 3 4 5
41. だれかがやって来て、お金を要求したとき、その人物が本当に助けを必要としているのか、あるいは詐欺師なのかがわかる。 1 2 3 4 5
42. 罪の自覚を持った人々が、私をさがして、どうやって自分の命をイエスにささげたらいいかたずねる。 1 2 3 4 5
43. 良い助言を必要とする人々が、私にそれを求める。 1 2 3 4 5
44. その達成が不可能に思えるときも、神のみ約束を額面通り受け取って、それを信じる。 1 2 3 4 5
45. 私の個人的な寄付と教会の寄付を合計すると、おそらく私の収入の五分の一かそれ以上になる。 1 2 3 4 5
46. 教会や地域のリーダーが、舗道の掃除のようなつまらない仕事を私にしてほしいと頼んだとき、喜んでそれをする。 1 2 3 4 5
47. 教会の礼拝のあと誰かをパトラックにさそったり、パトラックのごちそうをつくったりすることが好きである。 1 2 3 4 5
48. 私は祈りの中で覚える人々のリストを持っている。それは長いリストで、だんだん増えていっている。 1 2 3 4 5
49. 聖書に関するだれの質問にも、全く緊張することなく答えることができる。 1 2 3 4 5
50. 私にはいろいろな計画をどんどん推進する能力があって、それを成功のうちに終わらせる見通しを持っている。 1 2 3 4 5

51. 福音を伝道することに対して、もしも裁判所が死刑の判決を下しても、私は主のために満足して死ぬだろう。 1 2 3 4 5
52. 見すばらしい身なりの酔っぱらいが、人通りの激しい交差点を渡っているのを見たら、進んで助ける。 1 2 3 4 5
53. もしも他国の伝道者として呼ばれたら、喜んでその国の文化に順応することができる。 1 2 3 4 5
54. 私は自分自身を、自分の教会の中の「羊たち」の幸福のために全面的に献身する「羊飼い」であると認めている。 1 2 3 4 5
55. 神は私を、落胆している人々の気持ちを晴らすために用いられる。 1 2 3 4 5
56. 問題を処理するとき、聖書の教えがす早く心に浮かぶ。 1 2 3 4 5
57. 私は、いろいろな決定の結果が長期的にみてどうなるのかを、並はずれた正確さで予定することができる。 1 2 3 4 5

応答の評価の仕方

前に戻って、57の質問全部の番号の一つを○で囲んだかどうかチェックして下さい。

今度は、この冊子の最後のページを後ろに折り返します。そこには57の空欄があります。質問1で○をつけた番号を調べて、その番号を第1の欄に書き込みます。次に、質問2で○をつけた番号を調べて、その番号を第2の欄に書き込んで下さい。以下57の空欄全部を番号でうめるまで続けて下さい。

次に、左から右へ番号の数を足します。つまり空欄1の番号と、空欄20の番号と、空欄39の番号を足すのです。そして、合計の欄に、説明に従って合計の数を書き込んで下さい。

全部の点数を合計したら、リスト全体に目を通して、いちばん点数の高い項目を○で囲んで下さい。たぶん非常に近い点数のものが、二つから四つかたまってあるはずです。

○で囲んだばかりの賜物について、つまり、最も高い点数のものについて、しばらく考えて下さい。将来の研究と実地練習のために、どれを第一にとりあげたいと思いますか？8ページにある点数表のその賜物の横にしるしをつけて下さい。

例

19 4	38 4	57 5	13 13	知 恵 レ
---------	---------	---------	----------	-------

次に、8ページのはじめの方にある空欄に、高い点数のついた賜物の名前を書いて下さい。これで、あなたの個人的な靈の賜物の最初の調査の記録ができたことになります。

終わりに

次の空欄に、あなたが最も高い点数を取った賜物を書き込んで下さい。おそらく非常に近い点数のものが二つから四つあるはずです。これが「一群の賜物」と見なされるものです。

1. _____ 2. _____
3. _____ 4. _____

また、あなたが自分で持っていると考えている賜物があれば、たとえ点数が高くなくても、次に加えて下さい。これらは、前にあげたものと共に、将来考慮する必要があります。

5. _____ 6. _____

あなたはこれで、自分の靈的賜物を発見する重要な一步を踏み出したことになります。しかし、テストというものは、高い確率のある領域を示すことしかできません。それは、これらがあなたの賜物であることを確実に意味しているわけではないのです。あなたはここで、神がその奉仕にお用いになるために、どんな賜物をあなたにお与えになったかということを、さらにつっこんで確認する必要があります。それには、日々の祈りや、靈の賜物に関する新約聖書の研究や、最も偉大なみ約束を示す賜物を用いた、祈りを込めた実地練習が含まれます。希望をいだいて、聖靈の導きのもとに、これらすべてを、そしてさらに多くのことをするのです。

2,000人以上のクリスチャンからの応答の資料が分析されています。9点以下の点数はいずれも、それがどんな才能であっても、低い見込みしかないとと思われますので、現時点では積極的に考慮すべきではないことを示唆しています。

名前 _____

例：

得点1 得点2 得点3 合計 賜 物

$$3 + 4 + 2 = 9$$

1	20	39		行政管理
2	21	40		使徒
3	22	41		見分ける力(洞察)
4	23	42		伝道
5	24	43		勧告
6	25	44		信仰
7	26	45		寄付
8	27	46		助け(奉仕)
9	28	47		もてなし
10	29	48		とりなし
11	30	49		知識
12	31	50		指導
13	32	51		殉教
14	33	52		慈善
15	34	53		外国伝道(宣教)
16	35	54		牧会(羊を養う)
17	36	55		預言
18	37	56		教え
19	38	57		知恵

新約聖書に述べられているが、この評価には含まれていない賜物は、いやし、奇跡、異言、異言の通訳、
独身（特に宗教的な誓いを立てて行うもの）、自発的貧困、および悪魔払いです。これらの賜物は非常に
劇的であったり、目で見てすぐに分かるものなので、それらを持つものは、その事実を認識するのに助
けを必要としないのです！しかし、彼らもまた、その適切な働き方について、地域の他の教会員の承認
を必要とします。

教会奉仕の一覧表（牧会）

牧会		牧会	
1	あなたが教員として、 教会の中に存在すること	5	牧会訪問
		牧会電話	
2	出席する	牧会相談	
礼	人々をさそう	牧会のハガキ・手紙	
	自動車を提供する運転をする	離脱者訪問	
	子どもたちの世話		
	会場準備	6 健康相談・指導	
	受付案内	生活相談・指導	
拝	独唱	家庭・職場問題指導	
	あかし	衣服家具書籍交かん	
3	祈祷会に出席する	7 子どもや学生をさそう	
祈	早天の祈祷	教師になる	
	断食・徹夜の祈祷	補助者になる	
	家庭(地区)祈祷会場提供	土曜学校の奉仕	
	祈りの課題を集めて連絡	会場を提供する	
	とりなし(密室)の祈り	自動車提供・運転奉仕	
育	(教会学校)	教材・教案の協力	
り	公の祈り		
	いやしの祈り		
4	月定献金	8 各部会(学、青壮、婦、光)	会員になる
献	集会献金		リーダーになる
げ	特別献金		会場を提供
も	献品		世話役になる
の	資産・遺産献金		人々をさそう
	必要に応じた献身奉仕		

御靈の賜物の一覧表

	エペソ 4:4 ローマ 12: 6-8	Iコリ 12: 6-10	Iコリ 12: 29-30	Iコリ 12: 28
1	使徒			使徒 使徒
2	預言者	預言者	預言者	預言者
3	伝道者			
4	牧師			
5	教師	教える人		教師 教師
6		奉仕		
7		勧めをする人		
8		分け与える人		
9		指導する人		
10		慈善を行なう人		
11			知恵のことば	
12			知識のことば	
13			信仰	
14			いやしの賜物	いやしの賜物 いやしの賜物
15			奇跡を行なう力	奇跡を行なう者 奇跡を行なう者
16			靈を見分ける力	
17			異言 異言を語る	異言を語る者
18			異言を解き明かす力	解きあかしをする
19				助ける者
20				治める者

教会奉仕の一覧表（伝道）

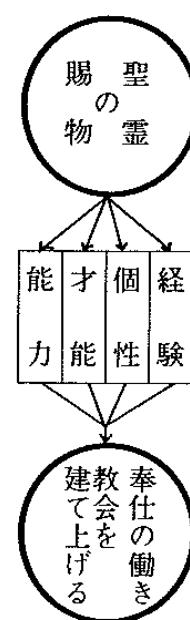
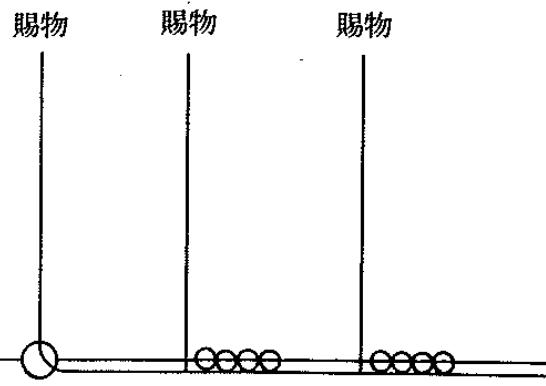
伝道		伝道	
1	あなたがクリスチャンとして地域社会に存在すること	34	立て看板
35	アナウンス	35	
2	家庭への派遣	36	自動車提供
3	地域社会への派遣	37	運転
4	職場・学校への派遣	38	集会中の子どもの世話
5	クリスチャンホーム建設	39	少年・少女伝道
6	世界宣教の協力	40	中・高生伝道
7	日曜学校にさそう	41	青年伝道
8	礼拝にさそう	42	婦人伝道
9	婦人会にさそう	43	老人伝道
10	伝道会にさそう	44	
11	特別集会にさそう	45	
12	家庭集会にさそう	46	
13	個人伝道		
14	あかし伝道		
15	訪問伝道		
16	相談伝道		
17	電話伝道		
18	文書伝道 <small>小冊子</small>		
19	郵送伝道新聞・雑誌・良書		
20	耳の伝道		
21	トラクト伝道		
22	路ぼう伝道		
23	食事伝道		
24	テープ伝道		
25	ラジオ・テレビ伝道		
26	社会奉仕伝道		
27	P T A 伝道		
28	町内会伝道		
29	サークル伝道		
30	献金		
31	塾伝道		
32	ボスター		
33	チラシ		

教会奉仕の一覧表（牧会）

牧会		牧会	
9	礼拝	13	ピクニック
説	伝道	レクリエーション	旅行
	家庭集会		スポーツ
	聖書勉強会		
	祈祷会	14	礼拝
教	各部会	司	伝道会
			聖会
			講演会
10	出席する		
家庭	人々をさそう		交わり会
集会	会場提供・接待		総会
			会議
11	奏楽		討論
音	独唱	会	各部会
	聖歌隊		
樂器	樂		
	指導・奉仕	15	礼拝
		受	伝道会
12	企画	付	結婚式
交	司会		告別式
わ	会場提供		
		16	礼拝
	茶菓食事奉仕	案	伝道会
り	スモールグループ	内	冠婚葬祭
	親ぼく会		
13	ゲーム	17	クリスチャンホーム建設
レクリエーション	キャンプ	クリンスホーム	結婚委員になる
			クリスチャンホーム開放

教会奉仕の一覧表（運営）

運 営		運 営	
1	長期構想を練るグループ	7	グ ラ フ
2	発案グループ	分 析	
3	発見調査	地 域 調 査	
4	賜物の運用	8	教 会 図 書
5	発見練習用	図 書 版 売	
6	役員会	良 書 紹 介	
7	管 理	新 闻	
8	運 営	雜 誌	
9	外 游	テ ピ ピ ピ	
10	企 画	一 デ オ	
11	会 計	示 板	
12	書 記	電 機 建 備	
13	記 錄	氣 械 物 品	
14	牧 会	園 地 地	
15	伝 道	庭 土 墓	
16	接 待	堂 わ り	
17		外 ま ふ き	
18		清 窓 ペ ン キ ぬ り	
19		管 営 善 資 料 作 成	
20		音 真 ム 書 集	
21		文 章 章	
22		編 集	
23		記 写 ア ル バ 文	
24		音 真 ム 書 集	
25		音 真 ム 書 集	
26		音 真 ム 書 集	
27		音 真 ム 書 集	
28		音 真 ム 書 集	
29		音 真 ム 書 集	
30		音 真 ム 書 集	
31		音 真 ム 書 集	
32		音 真 ム 書 集	
33		音 真 ム 書 集	
34		音 真 ム 書 集	
35		音 真 ム 書 集	
36		音 真 ム 書 集	
37		音 真 ム 書 集	
38		音 真 ム 書 集	
39		音 真 ム 書 集	
40		音 真 ム 書 集	
41		音 真 ム 書 集	
42		音 真 ム 書 集	
43		音 真 ム 書 集	
44		音 真 ム 書 集	
45		音 真 ム 書 集	
46		音 真 ム 書 集	
47		音 真 ム 書 集	
48		音 真 ム 書 集	
49		音 真 ム 書 集	
50		音 真 ム 書 集	
51		音 真 ム 書 集	
52		音 真 ム 書 集	
53		音 真 ム 書 集	
54		音 真 ム 書 集	
55		音 真 ム 書 集	
56		音 真 ム 書 集	
57		音 真 ム 書 集	
58		音 真 ム 書 集	
59		音 真 ム 書 集	
60		音 真 ム 書 集	
61		音 真 ム 書 集	
62		音 真 ム 書 集	
63		音 真 ム 書 集	
64		音 真 ム 書 集	
65		音 真 ム 書 集	
66		音 真 ム 書 集	
67		音 真 ム 書 集	
68		音 真 ム 書 集	
69		音 真 ム 書 集	
70		音 真 ム 書 集	
71		音 真 ム 書 集	
72		音 真 ム 書 集	
73		音 真 ム 書 集	
74		音 真 ム 書 集	
75		音 真 ム 書 集	
76		音 真 ム 書 集	
77		音 真 ム 書 集	
78		音 真 ム 書 集	
79		音 真 ム 書 集	
80		音 真 ム 書 集	
81		音 真 ム 書 集	
82		音 真 ム 書 集	
83		音 真 ム 書 集	
84		音 真 ム 書 集	
85		音 真 ム 書 集	
86		音 真 ム 書 集	
87		音 真 ム 書 集	
88		音 真 ム 書 集	
89		音 真 ム 書 集	
90		音 真 ム 書 集	
91		音 真 ム 書 集	
92		音 真 ム 書 集	
93		音 真 ム 書 集	
94		音 真 ム 書 集	
95		音 真 ム 書 集	
96		音 真 ム 書 集	
97		音 真 ム 書 集	
98		音 真 ム 書 集	
99		音 真 ム 書 集	
100		音 真 ム 書 集	



人は新生の時点で初めて聖霊の賜物を受けます。しかしそ後の信仰生活のなかで必要に応じて必要な賜物を受けることができます。決して賜物は単数・一回的・終生不变だけではありません。

断絶の連続の場合
聖霊の賜物は、能力を通路とし、経路として新しい機能を發揮させて、奉仕の働きをさせ、キリストのからだなる教会を建て上げさせます。